

5年生 稲刈りおわる！

美山学だより

美山小学校では昨年度から「美山学」として美山の歴史・文化・人・物・事を教材として学び、表現力やコミュニケーション能力を高める学習に取り組んでいます！

南丹市立美山小学校

Tel : 75-0017 FAX : 75-0106 Mail : miyama-es@kyoto-be.ne.jp

平成 29 年 10 月 25 日発行 NO. 7

5月に田植えをした田んぼが黄金色に実りました。9月16日、田植えの時同様に、川勝政義さん、武田利津子さんにお世話になり、5年生23名が稲の刈り方を教えてもらいました。稲を刈り、ひとまとまりしたものを藁(わら)で結んでは束を作っていました。初めはぎこちなかったのが、だんだんと慣れた手つきになって、励ましてもらいながら上手になりました。稲木いっぱいにかかった稲の束を見るとみんなにっこりと笑顔になっていました。川勝さんも「みんながおにぎりにして食べるときの顔を見るのが楽しみ」とおっしゃっていました。

11月3日のふるさと祭りでは「美山ブランド」の一つとして、6年生のブランドシールを貼って出品する予定です。



芋掘りを通しての食育 2年生

春に苗を植えたサツマイモの芋ほりに行きました。和泉の芋畑まで、小学校から歩いていく道すがら声をかけてくださる地域の方もあり、防災無線で今回の芋ほりを知ってくださっている様子でした。美山農業委員会のみなさんも子どもたちの食育に関連してご協力くださっており、早速一緒に芋ほりをはじめると、大きなお芋がゴロゴロと出て、子供たちからは歓声があがります。立派に育ったお芋を手には笑顔いっぱいの2年生です。

「はるに うえた おいもが、こんなに大きくなっていて うれしかったです！」「大きなおいもが出てきてびっくりしました。」などと、多くの子供たちが、自分たちの植えた苗がこんなにも立派なお芋に成長していたことに喜びを感じた様子で、自然の力と農業の力に驚きを持って感動していました。ご家庭でサツマイモ料理に取り組んでいただき、苗から実り、食卓に上るまでの一連を経験しました。



第3回 熟議

「美山の子どもたちの未来を考えるワークショップ」

9月5日(火)今回は、はじめて夜間の開催としました。

少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進委員、

美山小学校PTA運営委員、美山小学校教職員、美山中学校教職員、南丹市役所職員の全35名に参加していただきました。

今回のテーマは、「さらに伸ばしたい力=チャレンジ精神・人とかわる力・美山の自然に目を向ける力について具体的な方策を考えよう。」でした。全7グループに分かれ、時間の経過を忘れるほど熱心に、そして楽しく、明るく、子どもたちの未来を中心にした話し合いやアイデア出しが行われました。

6年生が取り組んでいる「美山ブランドシール」もこの第2回のワークショップで出されたアイデア

が具体的な動きとなって歩み出しています。今回は、「子ども屋台」や美山五山（頭巾山、長老ヶ岳、城山、平屋富士、ハケ峰）登山、「自然チャレンジキャンプ」「リターンチャレンジリスpektプログラム」など、具体的なアイデアがたくさん出されました。地域とともに歩むプログラムが実際に動き出していく日も近いと実感しました。



美山34カンパニー 6年生 「美山ブランドシール」で美山のよさを知ってもらおう！伝えよう、広めよう！



1学期、「修学旅行で奈良を訪れる外国人観光客に美山を知ってもらおう」という目的で作ったシールが、第2回の美山の子どもたちの未来を考えるワークショップ（熟議）の中で「美山ブランドシール」として世に出して、美山の特産物に貼って広めようということになりました。さらに美山ふる

さと株式会社さんのバックアップにより、食育と絡めた取組の中でだんだんと大きなプロジェクトとなっていました。

6年生では、シールのほかにもPRのためのマスコットキャラクターや缶バッジなどの作製に取り組み、「美山34カンパニー」という会社まで立ち上げました。社長のリーダーシップの下34人が協力して「美山ブランド」を広めるため宣伝部、商品開発部の2つの部、そして8つの課を組織して頑張っています。そしてこの取組が10月19日の京都新聞丹波版でも紹介されました。今後は、授業の中でも美山町内の商店をまわ



り、ブランドシールの活用をお願いしていきますが、広く地域内外の方に知っていただくため、10月29日(日)の里山ファンマラソン、11月3日(祝)のふるさと祭りで、地域の方やランナー、観光客を対象にキャンペーンの実施を計画しています。皆さんも「美山34カンパニー」の活動をどうぞ見に来てください。



↑それぞれの課に分かれてタブレット端末を活用したグループワーク実践中 (ICT活用)



5年生 ホンモロコ養殖場見学

大野地区川谷でホンモロコの養殖をされている大瀬勤さんにお世話になり、養殖場を見学しました。ホンモロコっていったいどんな魚？から始まり、多くの質問に答えて頂き、美山での農地の活用方法としてホンモロコがどのように育てられているのか、大瀬さんのお話を聞いたり、実際に間近でホンモロコを見ることが、農業や産業、農地の活用についての学習を深めることができました。



3年生 神楽 (田歌 ぎおんさん)の絵を描く！

1学期に田歌の長野宇規さん、高野美好さんから話を聞いたりお面をかぶらせてもらったりして、地域の伝統行事に興味を持った3年生。7月のお祭りには実際に見学に行き、クラスの同級生が祭りの役者の一員として活躍する様子



も目の当たりにし、その伝統を絵に表しました。迫力が伝わってきます。

10月2日(火)4年生の総合的な学習の時間のテーマ「美山 笑顔・まごころお届けし隊！」が出動しました。まごころをお届けしたのは、知井ふれあいホーム、鶴ヶ岡の美山こぶしの里です。

こぶしの里では、紙芝居の中に音読や歌、自己紹介を入れて大きな声で上手に発表しました。おばあちゃんたちも子どもたちと一緒に歌ってくださり、やさしい目で手を握ってくれたりして温かいほのぼのとした時間を過ごすことができました。施設の方々も「みんなが来て、いろんな発表をしてくれて元気をもらったよ。ありがとう。」と言ってくれました。知井ふれあいホームでは、利用者の方と折り紙で箱作り「美山のええところ」をクレヨンでお絵かきをし、いろんなええところを教えてもらいました。4年生のまごころがお年寄りの方々に伝わったことと思います。



教職員研修・夏のフィールドワーク



夏季休業中(8月3日)を活用してフィールドワークを行いました。今年は、各学年が美山学(社会科や生活科、総合的な学習の時間など)で取り組んでいるところを中心に、5年生の稲(田んぼ)、2年生のサツマイモ(畑)、長谷井堰、安上水路(平屋)、城山、光照寺、大野ダム、常盤池

と回りました。大野ダムでは、中に入れてもらい、ダムの仕組みや役割を学びました。最後に行った旧鶴ヶ岡小学校では、小畑弘先生に講師をお願いし、「28水」の時の話を聞きました。美山学の学びを進める教職員として、美山の歴史や先人の思いを学ぶよい機会となりました。



5年生 ホームステイ

「美山の人・自然・物・事にふれ、そのよさを実感するとともに、美山を愛する心情を深める」「受け入れ先の家族とのふれあいを通して、コミュニケーション能力を高める。」この2つのめあてをもって、5年生23名が2～3名ずつ10班に分かれて美山全域10家庭に1泊2日のホームステイをお世話になりました。

受け入れ家庭は一人暮らしのご家庭や、年配のご夫婦のご家庭、小さいお子さんのおられるご家庭などさまざまです。農作業や食事の手伝い、それぞれの地域のお話を聞いたり、ご家族の皆さんとコミュニケーションをはかりました。はじめは緊張から物静かだった子どもたちも、時間とともにうちのかたと打ち解けてきたようです。広い美山の中でも自分の知らない地域へ出かけ、知らないご家庭にお世話になったことで、新しい発見も多くあったことでしょう。この体験を通してひとまわり大きくなって帰っ



てきた様子です。帰るころには、「またおいでや」とおうちの方に優しく声をかけていただき、もうひとつの美山の家ができたようです。受け入れをお世話になったご家庭の方にも、農村民泊でよその地域の子もたちが来てくれる以上に、美山の子たちが来てくれるのが嬉しいとおっしゃっていただきました。

体験を終え、5年生の子どもたちは、「もっといたいなあ。また会えるよね。ありがとうございました。」と充実と少しのさみしさを見せ、新しい友達ができたよううれしい顔を見せて帰りのバスに乗り込んでいました。

Web会議スタートしました！海士小学校・福井小学校とつながろう 5・6年



本年度より、島根県隠岐郡海士町(隠岐諸島の中ノ島)の2つの小学校(海士小学校と福井小学校)とWebで交流学习を進めています。「今まで出会わなかった地域の友達とふれあい、別の地域のよさを知り、わがふるさとのよさを再発見する」というねらいの下、9月25日に5年生が福井小学校の5・6年生(複式学級)と9月29日に6年生が海士小学校の5・6年生(複式学級)と第1回目の交流をしました。

自己紹介、地域、学校、学級紹介の順に進め、お互いに質問や感想を伝えあうなど仲良くなりました。直線距離で約240km離れた地域と一瞬で繋がり、笑いあったり話し合ったり楽しい時を過ごすことができました。第2回は11月下旬に予定しています。



紹介 よろしくお願ひします

地域連携コーディネーター 古北真里さん

美山学では美山全地域の歴史・文化・人・物・事を教材として学び、表現力やコミュニケーション能力を高める目的で取り組んでいます。美山全地域と一言に言っても大変広く、学校の職員だけでは知らないことも多いので、知井地区南に在住で鶴ヶ岡振興会、美山まちづくり委員会にも所属されている古北真里さんに、地域と連携を深め「美山学」をより深められるよう、9月から地域連携コーディネーターとしてお世話になっています。

ご案内

美山学の学習を通して、地域とともにある学校の実践発表を行います。公開授業や研究発表、講演がありますのでぜひ見に来てください。

研究発表会を見に来てください！ 日時:11月30日(木)10:30～16:30 会場:美山小学校

テーマ「自ら考え、伝えあい、学ぶ喜びを実感する児童の育成～美山学の実践を通して～」

・公開授業:11:00～11:45(1～6年生すべての教室をご覧いただけます)

・研究発表:13:00～14:50(地域の方を交えたパネルディスカッションです)

・講演:『「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ』 文部科学省初等中等教育局参事官 木村直人氏